

令和8年度 学校経営方針

学校教育目標

北九州市立熊西小学校



児童の豊かな人間性・確かな知性・たくましい心身の健康を培う

○正しい判断力、創造性の育成 ○確かな学力の向上 ○健康や体力の増進

学校経営の基盤

- ◇ 公教育の立場を踏まえて
日本国憲法・教育基本法・学校教育法等諸法令・**北九州市こどもまんなか教育プラン**等に準ずる。
全体の奉仕者としての自覚と責任感、使命感をもつ
- ◇ 時代を見極め、社会の要請に応える新しい学校教育の創造を行う
Society5.0に活用できる人材の育成
チーム熊西⇒全教職員が子ども・教職員のため結束・協力する教育課題と経営課題への対応
働き方改革⇒子ども・教職員ファースト&業務改善プログラムの融合
- ◇ **協育・共育・今日行く**

8年度重点目標

- **安全で安心な学校づくり**
 - ・ 生徒指導の充実、安全対策の徹底
 - ・ 受容、寄り添い、寛容…**居心地のよい学校づくり**
- **思いやりの心の育成**
 - ・ 心に響く道徳科授業、日ごろの関わり、ほめる、情報共有、周知
- **特別支援教育の充実**
 - ・ 全教職員が特別支援教育への意識の向上、実践、**関係機関との連携**
- **子どもの意欲を高め、個及び集団を伸ばす教育**
 - ・ 体験活動の重視・ICT・タブレットを積極的に活用した授業づくり

校区の特性

校区は北九州市の副都心黒崎の西南に隣接する位置にあり、駅、デパート、専門店街などに近いことから企業の社宅やマンションなどが多い地域。また長崎街道の名残をとどめる曲里(まがり)の松並木やスポーツゾーン、警察・役所など公的機関、総合病院をはじめたくさんの病院、ホテルなどがあり歴史的・文化的な風情を感じることができる地域。多くの子どもが昼休み運動場で遊んだり、高学年が低学年をお世話したりする姿も見られる。保護者は、教育熱心でまた学校の諸活動にも協力的で、学校ボランティアの活動にも積極的に関わっていただいている。(HP PTA 紹介文より一部抜粋)

徹底する指導

- 学習規律の徹底(熊西小学校スタンダード)
 - チャイムの徹底。チャイムまでに次時の学習道具をそろえる。
 - 机をそろえる、姿勢を正しくする。
 - 正しい言葉遣いで話す。
- 学力向上・体力向上
 - ICT・タブレットを積極的に活用した授業づくり。
 - **AIドリルの効果的な活用。**
 - チャレンジランニングで体力アップ。
 - 1単位時間の体育の活動量を増やす。
- 「分かる・できる」を実感できる学習
 - ミニテストでできる(達成感)の感覚をもたせる。
 - 学習後の振り返りで価値付ける⇒評価の工夫
 - 話し合い活動の充実。
- 45分を集中させる展開
 - 教師の話は短めに。しかも**見える化(ICT活用)**でシンプルに。
 - ポートとする隙を与えない。(やると得するシステムに)
 - 話し合い、教え合い、学び合う学習集団。
 - ノート記入、ペア学習、グループ討議で集中させる。
 - 目標時間で区切って短時間で仕上げさせる。(小課題短時間で)
- 特別支援教育の深化・充実を図る
 - 特別支援学級との連携。交流学習。
 - 特別支援を要する児童には特別な配慮を。(トラブル避ける環境)
 - ユニバーサルデザイン、インクルーシブ教育の視点をもつ。
- 専科指導及び一部教科担任制の効果的実施
 - 専門性を活かした質の高い指導。
 - 時間の有効活用と共助。
- **読書活動の推進、充実**

規範意識と自他尊重

- 規範意識の徹底
 - あいさつはどこでも、誰にでも。
 - 黙々掃除 いつ・どこを・どのようにするか手順と方法を明確に示す。
 - 時間を守る 待たない・途中で終わる。
 - 通行ルール 右側通行、時速4キロ、弱者優先、保健室前等特に静かに。
 - 靴をそろえる 下駄箱の靴・机・ランドセルをそろえる、体操服をそろえる。
- 自己実現を目指す生徒指導の推進
 - 問題事象には理由がある。問題の背景に寄り添う姿勢を忘れずに。
 - 問題事象は、主任・担当・管理職への報告及び、即日対応、家庭訪問。
 - **定期的ないじめ調査、聞き取り。全市統一調査年一回以上。**
 - 事が起きてからではなく、事が起きる前に指導する。(健康観察を大切に)
 - 全職員で「熊西小学校スタンダード」を徹底する。
 - 「熊西小のよいこのきまり」を徹底させる。
- 人間としてよりよく生きる基盤を養う(特別な教科道徳科の実施)
 - 主体的判断のできる、自立した人間として他者と共によりよく生きる。
 - 誰も見ていなくても、してよいこと・悪いことを区別して実践する。
 - **道徳的価値の自覚を図り、自己有用感を醸成する。**
- 人権感覚を育む人権教育の推進
 - 日常生活の中に温かい言葉を増やそう。
 - **体罰・言葉の暴力の禁止**は言うまでもない。連帯責任の禁止。

チーム熊西・職員像

- 学び合う教師集団の育成
 - **こどもまんなか教育プランに準じた業務改善。スクラップ&ビルドの観点に立って**
 - 事務削減して子どもとふれあう時間を捻出する工夫を。
 - 定時退校(金)ON/OFF切替。**市の指針45h以下に。**
 - 綱紀粛正(飲酒運転撲滅、個人情報保護、体罰・セクハラ撲滅等)
 - 誰もが一つは校務の提案で学校全体を動かす。(決まったら協力)
 - 情報共有が肝心。管理職や主任に必ず。(学年行事等の事前連絡)
- 保護者との結び付きの強化
 - 出会ったら保護者によりよいことを発信する姿勢で。
 - 保護者は子育てに悩んでいる。相談に乗る気持ちで。
 - 通信、HP、Tetoru等で学校・学級の様子を知らせる。学級・学年通信等対外文書はチェックを受ける。
 - **Tetoruの個別配信機能の検討**
 - 学習参観は元気で明るい姿を見せよう。(服装等見た目は重要)(学習参観、運動会、開放週間、作品展等)
 - PTA活動への積極的な参加・協力。
 - 学校評価制度、アンケートで保護者にも参画意識を。
- 地域との結び付きの強化
 - 地域の教育ボランティアへ感謝の気持ちを示す。
 - 地域行事への積極的参加。
 - 学校運営協議会との連携(年2回会議の実施)。
- 園・小・中との結び付きの強化
 - 保幼小中連携事業への積極的参加。
- **関係機関との連携強化**
 - **教育委員会、子ども家庭局、警察 等との連携。**
- SDGs未来都市を意識した教育
 - 教育指導計画書に明記。

安全第1

- 健康教育の充実を図る。
 - 徹底した感染症対策。
 - 8:45までに健康観察、居所把握。不明者は職員室へ連絡。
 - 怪我は原因究明し、保護者へ**当日必ず**早めに連絡する。(連絡帳は×)
 - 怪我の病院行、病気の帰宅は管理職に必ず相談を。首からは必ず病院へ。
 - 不登校、無断欠席、2日連続欠席は家庭訪問。

- 防災教育の充実を図る。
 - 交通安全指導・安全点検の実施。
 - 登校時刻、下校時刻の遵守。(全クラス)
 - 防災訓練の実施。
 - 校外学習は1週間前に届け提出。

- 食育の推進を図る。
 - 手洗い習慣化、もう一口運動のススメ。
 - 給食時間(12:25~13:00)内で片付け終わる指導の工夫。(余裕をもって)
 - アレルギー対応おかわり禁止、食中毒、異物混入の防止。
 - 調理や火気を使うときには管理職へ事前連絡を。